

①個別データシート

整理番号:	JP304003	種類	製品	英名	crude oil
		分類	鉱業	和名	原油

・GHG排出量 1.85E-01 kg-CO2e/L

・情報源分類 その他調査データ

・技術記述子 原油の採掘

・技術の内容と機能 原油の採掘～生産

・情報源

日本エネルギー経済研究所(1999)

・データ作成者コメント

文献より、原油採掘にかかわるエネルギーを自家消費分およびフレア分を天然ガスとして作成。

・適用範囲

油田より採掘される原油。
コンデンセートとは異なる。
製品1L当たりの原単位で示されている。

・システム境界

資源採取から製品の生産までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。フレア燃焼による排出や、通気弁等から排出されるCH4、CO2も範囲に含む。輸入の輸送は含まない。

・配分

主製品に比べ経済価値が低いので、随伴ガスには配分しない。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、採掘時放出のCO2(化石資源由来)、採掘時放出のCH4(発生源不特定)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考
ユーティリティ	中間フロー	入力	燃焼・天然ガス	燃焼・天然ガス	7.57E-01	MJ	
資源/原材料	基本フロー	入力	原油(資源)		8.54E-01	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	N2O		6.40E-07	kg	原油(コンデンセートを除く)生産時に随伴ガスの焼却を行う場合にそれに伴い排出されるN2O
大気圏排出物	基本フロー	出力	CH4		3.04E-03	kg	原油(コンデンセートを除く)生産時の通気弁等からの排出されるCH4と随伴ガスの燃焼時に排出されるCH4
大気圏排出物	基本フロー	出力	CO2(化石起源)		6.73E-02	kg	原油(コンデンセートを除く)生産時の通気弁等からの排出されるCO2と随伴ガスの燃焼
製品	中間フロー	出力	原油	原油	JP304003	1.00E+00	L